

## 0. 1. 令和2年度における概況

### (1) 上水道事業

令和2年度末の事業数は29である。

全事業の現在給水人口は1,778,690人で前年度(1,790,652人)より11,962人(0.7%)減少している。

年間給水量は251,066千 $m^3$ で、前年度(249,830千 $m^3$ )より1,236千 $m^3$ (0.5%)増加しており、実績1日最大給水量は769,369 $m^3$ で、前年度(765,491 $m^3$ )より3,878 $m^3$ (0.5%)増加している。

給水収益は33,470,674千円で、前年度(36,436,489千円)より2,965,815千円(8.1%)減少し、給水人口1人あたりの水道料金負担額は、年間18,818円となっている。

年間取水量は255,912千 $m^3$ で、前年度(257,210千 $m^3$ )より1,298千 $m^3$ (0.5%)減少し、取水量に対するロス率1.9%である。

年間有収水量は210,595千 $m^3$ で、有収率は83.9%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の170,878千 $m^3$ で、次いで営業用の30,162千 $m^3$ となっている。

供給単価は159円/ $m^3$ である。

### (2) 簡易水道事業

令和2年度末の事業数は25である。

全事業の現在給水人口は8,529人で、前年度(8,436人)より93人(1.1%)増加し、年間給水量は1,681千 $m^3$ で前年度(1,638千 $m^3$ )より43千 $m^3$ (2.6%)増加した。

1日平均4,592 $m^3$ を給水しており、前年度(4,488 $m^3$ )より104 $m^3$ (2.3%)の増加となった。

年間有収水量は1,054千 $m^3$ で前年度(1,040千 $m^3$ )より14千 $m^3$ (1.3%)増加し、有収率は62.7%であった。

### (3) 専用水道

専用水道施設は153であり、現在給水人口は8,559人である。

153施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが63施設で現在給水人口は1,323人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている(自己水源との併用も含む)」ものは90施設で現在給水人口は7,236人である。